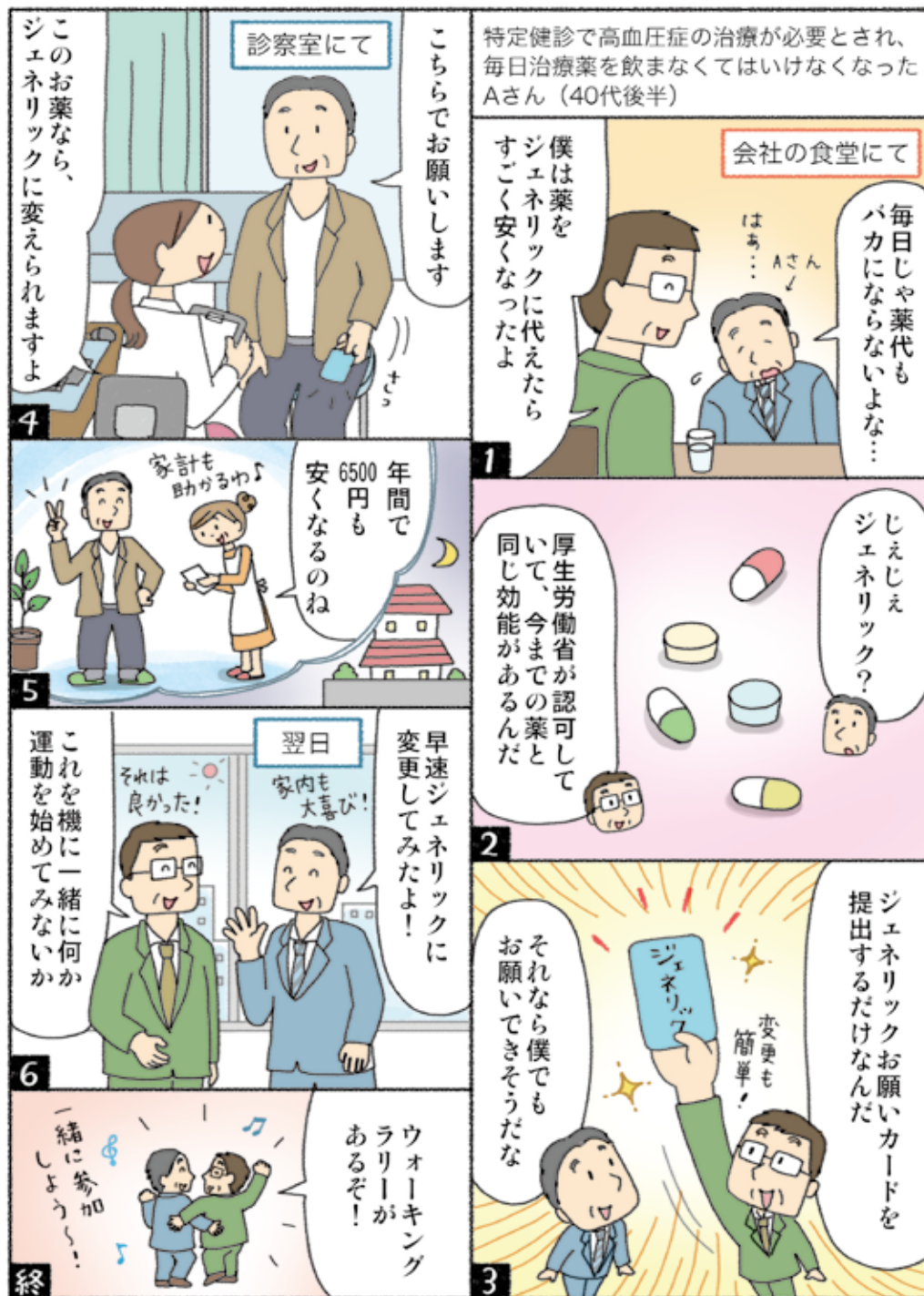
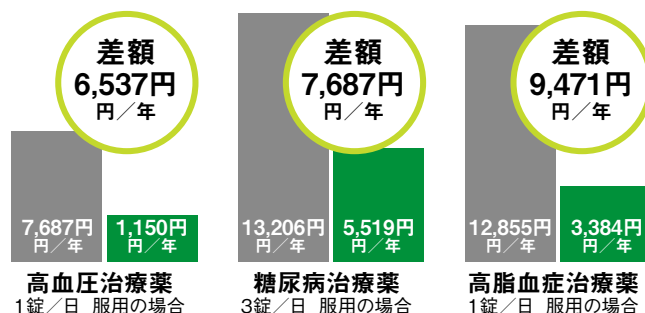


ジェネリック 医薬品で節約しよう

国では平成29年度末までに、ジェネリック医薬品の使用率60%をめざしています。ジェネリック医薬品への切り替えは、あなたの家計だけでなく、医療保険制度全体の財政健全化につながります。ジェネリック医薬品への切り替えは、医師や薬剤師に相談してみましょう。



「ジェネリック医薬品お願いカード」は日本ジェネリック医薬品学会の情報サイト「かんじゃさんの薬箱」からダウンロードできます。
URL <http://www.generic.gr.jp/>



※自己負担3割の場合 ※ジェネリック医薬品Q&A(日本調剤株式会社)より

ジェネリック医薬品とは後発医薬品のことです。先発医薬品の特許期間が満了した後に厚生労働省の認可のもとで、製造・販売されるものです。莫大な開発コストがかかりませんので、先発医薬品より価格が2〜8割程度に抑えられています。負担する薬代が安くなりますので、高血圧や糖尿病など慢性疾患で長く使う治療薬ほど差額は多くなります。これまで処方されていた薬を医療機関や調剤薬局の窓口でジェネリック医薬品に替えれば、家計の負担が減るだけでなく医療費の無駄も抑えることができるのです。

ジェネリック医薬品に変更しましょう